

菊沢喜美子生 きみこ いろは 國語學者。明治二十二年一月七日三重縣生れ、昭和

二十年歿（一九〇一全）。筆名 Kinagamoto。大正十一年東北帝國大學工

學部卒、昭和二年同大法文學部卒。宮城學院女子專門學校教授、宮城

學院女子大學教授、同大圖書館長歴任。日本ローマ字文會會長。

著書 『ローマ字綴方の進化—ハボン式から日本式へ』（合著、昭和四

年十月、二十日日本ローマ字會「日本ローマ字會パンフレット」）、『國

字問題の研究』（昭和六年六月五日岩波書店）、『國語教育の方法學

的研究』（合著、千葉春雄編、昭和九年五月十六日厚生閣書店）、『國

語學の場から見たローマ字綴方問題—文部省臨時ローマ字調査會の

於ける論述』（昭和十年一月、二十日日本のローマ字社）、『言語文化

體系』（合著、晩翠會編、昭和十二年十一月十五日晩翠會「晩翠會紀

要」）、『國語塾讀本』（昭和十四年十一月十八日思潮社）、『國語

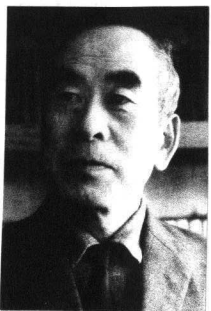
問題篇』（合著、昭和十六年七月、二十日朝日新聞社「國語文化講座」）、

『日本ローマ字史年表』（編、昭和二十四年五月、二十一日日本のロー

マ字社）等。

菊沢喜美子著 『伊賀の人 菊沢喜美子』（田中実編、平成六年八月、二十八

日京都刊）がある。



伊賀の人
菊沢喜美子

菊沢 喜美子 著